
2021年度第2四半期決算説明会

2021年11月2日

Hitz日立造船株式会社

目次

財務情報

- 2021年度第2四半期連結決算概況
- 2021年度業績見通し
- セグメント別詳細

経営・事業情報

- 中期経営計画について
- 上半期受注実績と事業別の状況
- 事業トピックス

補足資料（小セグメント）

財務情報

取締役 企画管理本部長
桑原 道

過去10年間で最高の上半期受注高・売上高

(億円)

	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	比較
受注高	2,212	3,806	1,594
売上高	1,668	1,804	136
営業利益	▲ 13	▲ 14	▲ 1
(利益率)	(▲ 0.8%)	(▲ 0.8%)	
経常利益	▲ 24	▲ 28	▲ 4
(利益率)	(▲ 1.4%)	(▲ 1.6%)	
(特別損益)	0	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 19	▲ 30	▲ 11
(利益率)	(▲ 1.1%)	(▲ 1.7%)	

(億円)

	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	比較
環境	1,663	3,198	1,535
機械・インフラ	507	568	61
その他	42	40	▲ 2
計	2,212	3,806	1,594

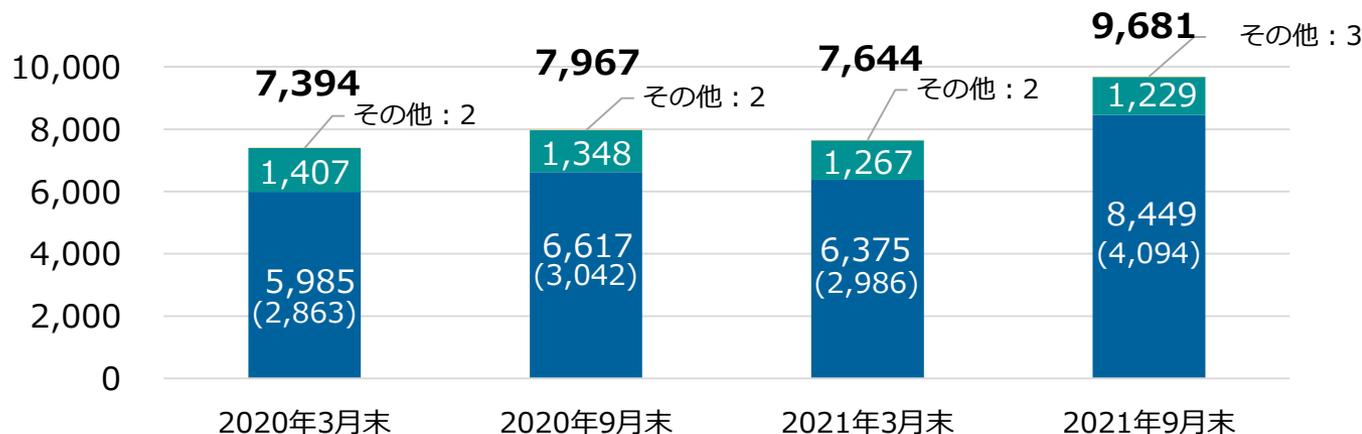
(億円)

	2020年 3月末	2020年 9月末	2021年 3月末 (a)	2021年 9月末 (b)	比較 (b) - (a)
環境	5,985	6,617	6,375	8,449	2,074
内、長期運営	2,863	3,042	2,986	4,094	1,108
機械・インフラ	1,407	1,348	1,267	1,229	▲ 38
その他	2	2	2	3	1
計	7,394	7,967	7,644	9,681	2,037

(億円)

受注残高の推移

■ 環境※ ■ 機械・インフラ ■ その他
 ※ () 内は、環境に含まれる長期運営の受注残



(億円)

	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	比較
環境	1,063	1,235	172
機械・インフラ	564	529	▲ 35
その他	41	40	▲ 1
計	1,668	1,804	136

(億円)

	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	比較
環境	▲ 13	▲ 7	6
機械・インフラ	0	▲ 9	▲ 9
その他	0	2	2
計	▲ 13	▲ 14	▲ 1

		(億円)	
2020年度2Q 営業利益		▲ 13	
増 減 内 訳	・ Inovaグループの改善	+ 22	▲ 1
	・ 高採算案件（水事業・基幹改造工事）減少	▲ 15	
	・ プレスの減益（前期受注減による減収）	▲ 6	
	・ その他	▲ 2	
2021年度2Q 営業利益		▲ 14	

2021年度2Q決算 連結貸借対照表

(億円)

	2021年3月末 (a)	2021年9月末 (b)	比較 (b)-(a)
現金及び預金	473	672	199
営業資産	1,932	1,470	▲ 462
受取手形売掛金及び契約資産	1,693	1,279	▲ 414
棚卸資産	239	191	▲ 48
有形・無形固定資産	1,228	1,213	▲ 15
その他	660	629	▲ 31
資産の部 合計	4,293	3,984	▲ 309
営業負債	883	864	▲ 19
支払手形及び買掛金	634	489	▲ 145
契約負債（前受金）	249	375	126
有利子負債	981	824	▲ 157
その他	1,147	1,073	▲ 74
負債の部 合計	3,011	2,761	▲ 250
自己資本	1,264	1,205	▲ 59
非支配株主持分	18	18	▲ 0
純資産の部 合計	1,282	1,223	▲ 59
負債・純資産の部 合計	4,293	3,984	▲ 309
自己資本比率	29.4%	30.3%	0.9%

【連結キャッシュフロー計算書】

(億円)

	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	比較
営業活動によるキャッシュフロー	124	386	262
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 56	▲ 8	48
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 95	▲ 180	▲ 85
現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲ 25	(注1) 199	224
現金・現金同等物の期首残高	415	458	43
現金・現金同等物の期末残高	390	657	267

【有利子負債】

	2020年 3月末	2021年 9月末	比較
借入金	(注2) 731	(注2) 624	▲ 107
社債	250	200	▲ 50
合計	981	824	▲ 157

(注1)為替換算差額含む (2020年度2Q：2億円，2021年度2Q：1億円)

(注2)リース債務を含む

2021年度業績見通し

(億円)

	2020年度	2021年度 見通し	比較		
	実績 (a)	2021年 期初公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c) - (a)	対 期初公表 (c) - (b)
受注高	4,294	4,500	5,800	1,506	1,300
売上高	4,085	4,000	4,000	▲ 85	0
営業利益 (利益率)	153 (3.8%)	140 (3.5%)	140 (3.5%)	▲ 13	0
経常利益 (利益率)	117 (2.9%)	90 (2.3%)	90 (2.3%)	▲ 27	0
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	42 (1.0%)	50 (1.3%)	50 (1.3%)	8	0

(億円)

	2020年度	2021年度	見通し	比較	
	実績 (a)	2021年 期初公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 期初公表 (c)-(b)
環境	3,037	3,150	4,450	1,413	1,300
機械・インフラ	1,173	1,250	1,250	77	0
その他	84	100	100	16	0
計	4,294	4,500	5,800	1,506	1,300

(億円)

	2020年度	2021年度	見通し	比較	
	実績 (a)	2021年 期初公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 期初公表 (c)-(b)
環境	2,694	2,650	2,650	▲44	0
機械・インフラ	1,308	1,250	1,250	▲58	0
その他	83	100	100	17	0
計	4,085	4,000	4,000	▲85	0

(億円)

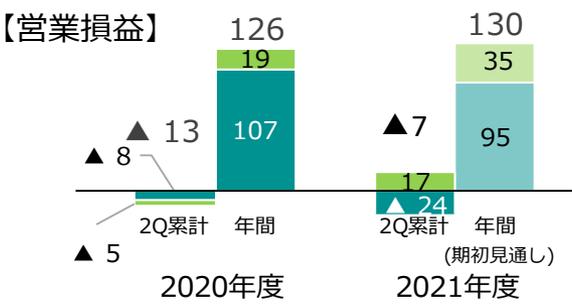
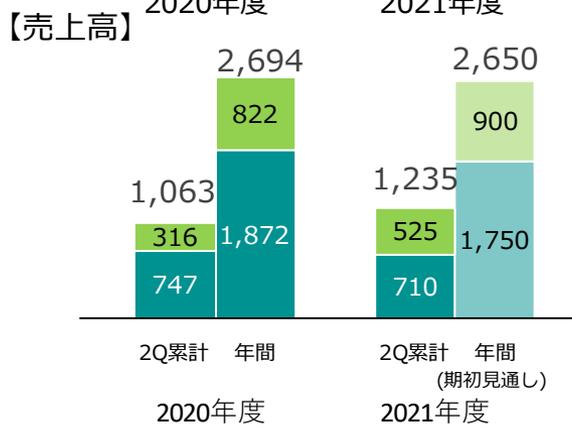
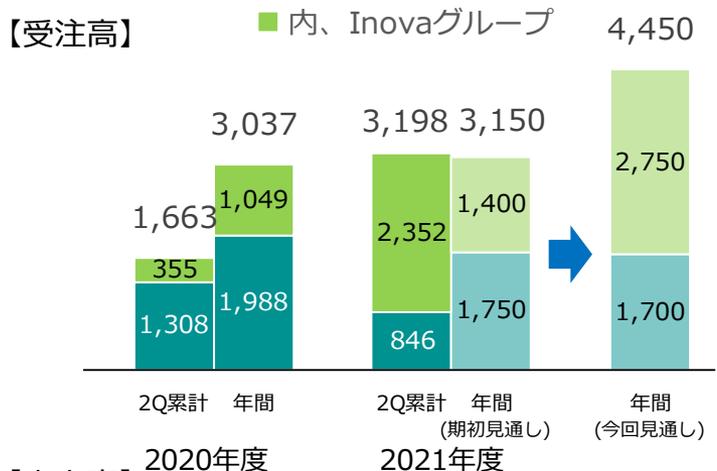
	2020年度	2021年度	見通し	比較	
	実績 (a)	2021年 期初公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 期初公表 (c)-(b)
環境	126	130	130	4	0
機械・インフラ	26	10	10	▲16	0
その他	1	0	0	▲1	0
計	153	140	140	▲13	0

(億円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (計画)
総資産	4,290	4,095	4,293	4,300
現金及び預金	356	429	473	480
自己資本	1,195	1,180	1,264	1,300
自己資本比率	27.8%	28.8%	29.4%	30.0%
ROE	4.6%	1.9%	3.5%	3.9%
有利子負債	1,263	996	981	965
設備投資費	69	103	108	100
減価償却費	89	101	102	110

貸借対照表の項目は、各年度末の数字

セグメント別詳細



受注高

- 2Q実績 (前年2Q比)
 - 3,198億円 (+1,535億円)
 - ・ドバイ(EPC、O&M)、英国(EPC)の受注
- 年間見通し (期初公表比)
 - 4,450億円 (+1,300億円)
 - 上記を踏まえて、上方修正

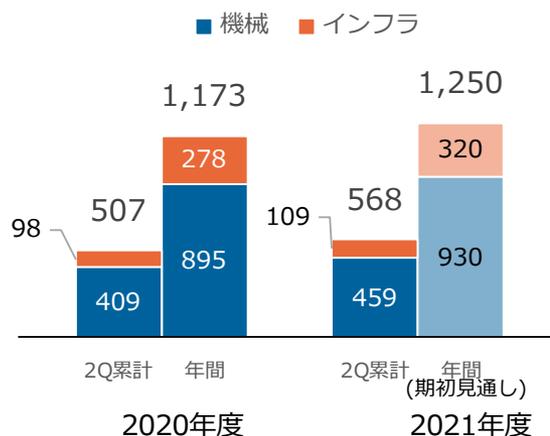
売上高

- 2Q実績 (前年2Q比)
 - 1,235億円 (+172億円)
 - ・Inovaで工事が順調に進捗
- 年間見通し (期初公表比)
 - 2,650億円 (±0億円)

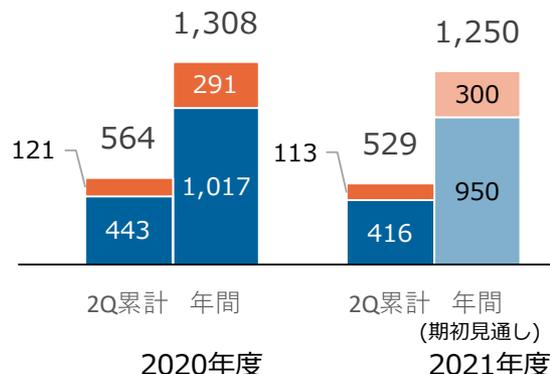
営業利益

- 2Q実績 (前年2Q比)
 - ▲7億円 (+6億円)
 - ・Inovaグループの改善
 - ・高採算案件(水事業・基幹改造工事)減少
- 年間見通し (期初公表比)
 - 130億円 (±0億円)

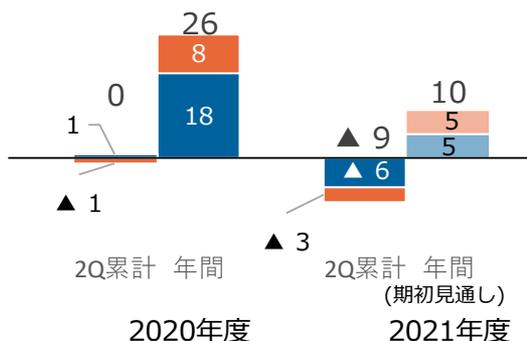
【受注高】



【売上高】



【営業損益】



受注高

■ 2Q実績 (前年2Q比)

568億円 (+61億円)

- ・ 舶用原動機、プレス機器、精密機械の増加

■ 年間見通し (期初公表比)

1,250億円 (±0億円)

- ・ プロセスの増加
- ・ 舶用原動機、その他機械の減少

売上高

■ 2Q実績 (前年2Q比)

529億円 (▲35億円)

- ・ プレス、プロセス機器の減少

■ 年間見通し (期初公表比)

1,250億円 (±0億円)

- ・ プレス、プロセス機器の減少

営業利益

■ 2Q実績 (前年2Q比)

▲9億円 (▲9億円)

- ・ プレス、精密機械の減少

■ 年間見通し (期初公表比)

10億円 (±0億円)

- ・ プレス、精密機械、その他機械の減少

経営・事業情報

取締役社長兼COO

三野 禎男

中期経営計画について

- ・ 企業活動全体を通じて、サステナブルで、安全・安心な社会の実現に貢献する
- ・ 自らも収益力を強化し、持続的成長可能な企業グループをめざす

基本方針/施策	取り組み
<p>製品・サービスの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 先端技術の活用 ② 事業立地転換、顧客・市場との対話促進 ③ グループ総合力の発揮 	<p>AI、IoTの製品・サービスへの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみ焼却発電施設の省人化・自動化推進 ▶ AI超音波探傷検査システム、食品工場の検査装置など <p>海外ごみ焼却発電O&M（イスタンブール、オーストラリア、UAE） 風力発電事業、PtG（Power to Gas）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ グリーンボンド発行（風力発電事業） ▶ グリーンイノベーション基金に採択（PEM型水素発生装置大型化・モジュール化、LNG燃料船メタンスリップ削減技術開発）
<p>事業の選択・集中の推進と リソースの伸長分野へのシフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ① Hitz目標管理制度導入 ② ポートフォリオマネジメント一層の推進 	<p>ポートフォリオ・マネジメント推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各事業の市場成長性をサステナビリティの観点で評価（社会のサステナビリティ×会社のサステナビリティ） ▶ 各事業の定量・定性評価と取締役会での対応策の審議 ▶ 川崎重工業とシールドマシン事業の新会社設立
<p>業務効率化・生産性向上による 働き方改革の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① グループ経営管理制度の変革による業務効率化 ② ものづくり事業のあり方検討 ③ 人材育成と働き方改革 	<p>戦略的な人材配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営人材・DX人材の育成、若手の管理職抜擢など <p>働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ICTの活用などによる生産性の向上 ▶ ベストプラクティス表彰の実施

上半期受注実績と事業別の状況

受注時期	案件	内容	性能	納期、供給期間
21年4月	メタネーション 東京ガスよりメタネーション装置を受注	東京ガスの横浜テクノステーション内にメタネーション装置を設置し、2021年度内に 実証試験を開始予定	12.5Nm ³ /h	2022年2月
21年6月	水事業 古賀市の汚泥再生処理センター建設工事を受注	老朽化が進む既存のし尿処理施設の隣に汚泥再生処理センターを新設	52kL/日	2023年12月
21年7月	小売電気 伊丹市の市役所本庁舎と上下水道局庁舎に再生可能エネルギー電力を供給	再生可能エネルギー電力への切り替えにより、2施設合わせて年間約712トンの温室効果ガスの削減を見込む	2.2百万kWh	市役所本庁舎： 2021年9月～ 2022年12月 上下水道局庁舎： 2021年9月～ 2024年9月



メタネーション施設



HiMethz（メタネーション触媒）

受注時期	案件	内容	性能	納期
21年5月	水処理：Osmoflo イラクでの水処理プラント	内容：河川の水を処理する原水のろ過処理装置、逆浸透膜(RO膜)法の水処理設備などを提供 客先：日揮グローバル株式会社 場所：イラク	12,500m ³ /日	2022年8月
21年6月	ごみ焼却発電：Inova アラブ首長国連邦ドバイ首長国でのごみ焼却発電プラント	内容：EPC、O&M 場所：アラブ首長国連邦ドバイ首長国ワルサン地区	190万t/年 (5炉) 200MW	2024年7月
21年6月	ごみ焼却発電 台湾でのごみ焼却発電プラント	内容：火格子やボイラー、発電設備などの設計・機器供給および据付・試運転時のSV派遣 客先：豊培資源股份有限公司 場所：彰化県彰濱工業団地	350t/日 15.5MW	2024年6月
21年7月	ごみ焼却発電：Inova 英国でのごみ焼却発電プラント	内容：EPC 客先：enfinium Skelton Grange Limited 場所：ウェスト・ヨークシャー州リーズ スケルトン・グレンジ	41万t/年 49MW	2025年7月
21年9月	ごみ焼却発電：HZIND インドでのごみ焼却発電プラント HZIND: Hitachi Zosen India Private Limited.	内容：プラントの設計、火格子などの主要機器の供給SV派遣 客先：Antony Lara Renewable Energy Pvt. Ltd 場所：マハーラーシュトラ州 プネ県	700t/日 14MW	2023年5月

ドバイ（完成予想図）



英国スケルトン・グレンジ（完成予想図）



インド・プネ（完成予想図）



環境事業主要プロジェクト（日立造船、その他グループ会社）

■ 設計・施工 ■ 長期運営

	案件名	受注時期	完工予定	受注形態	当社所掌	暦年						
						2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国内	大津新美化	2017年3月	2023年3月※	JV	DBO	[Gantt bar: 2018-2023 (Design/Construction), 2023-2024 (Long-term Operation)]						
	大津新北部	2017年3月	2022年6月	JV	DBO	[Gantt bar: 2018-2022 (Design/Construction), 2022-2024 (Long-term Operation)]						
	高崎市	2018年6月	2025年1月	単独	EPC	[Gantt bar: 2018-2025 (Design/Construction)]						
	道央	2019年11月	2024年7月	JV	EPC	[Gantt bar: 2019-2024 (Design/Construction)]						
	我孫子市	2020年2月	2023年3月	JV	DBO	[Gantt bar: 2020-2023 (Design/Construction), 2023-2024 (Long-term Operation)]						
	長岡市	2020年3月	2024年3月	JV	BTO	[Gantt bar: 2020-2024 (Design/Construction)]						
	宇城広域	2020年7月	2024年3月	JV	DBO	[Gantt bar: 2020-2024 (Design/Construction)]						
	佐賀県東部	2020年8月	2024年3月	単独	DBO	[Gantt bar: 2020-2024 (Design/Construction)]						
	清掃一組(江戸川)	2020年9月	2027年5月	JV	EPC	[Gantt bar: 2020-2027 (Design/Construction)]						
	南薩地区	2021年2月	2024年8月	JV	DBO	[Gantt bar: 2021-2024 (Design/Construction), 2024-2025 (Long-term Operation)]						
海外	中国・長沙市Ⅱ期	2018年12月	2022年2月	単独	EP+SV	[Gantt bar: 2019-2022 (Design/Construction)]						
	中国・徐州	2019年1月	2021年12月	単独	EP+SV	[Gantt bar: 2019-2021 (Design/Construction)]						
	タイ・ラオーン	2019年5月	2021年7月	コンソーシアム	EP+SV	[Gantt bar: 2019-2021 (Design/Construction)] 【完工済】						
	中国・上海海浜	2019年7月	2023年1月	単独	EP+SV	[Gantt bar: 2019-2023 (Design/Construction)]						
	中国・上海宝山	2020年8月	2023年4月	単独	EP	[Gantt bar: 2020-2023 (Design/Construction)]						
	インド・ヒダデー	2020年12月	2022年10月	コンソーシアム	EP+SV	[Gantt bar: 2021-2022 (Design/Construction)]						
	台湾・彰化県	2021年8月	2024年6月	単独	EP+SV	[Gantt bar: 2021-2024 (Design/Construction)]						
	インド・モシ-	2021年9月	2023年5月	コンソーシアム	EP+SV	[Gantt bar: 2021-2023 (Design/Construction)]						

※2023年3月は既存焼却炉解体および付属棟建設まで含めた工期

■ 設計・施工 ■ 完工後O&M

案件名 (国)	受注時期	完工予定	受注形態	Inova所掌	暦年							
					2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
イスタンブール(トルコ)	2017年 9月	2021年10月	JV	EP+O&M(1年)								
イヴリ(仏)	2018年11月	2021年	単独	EP+SV								
ルーカリー(英国)	2019年 3月	2022年2月	単独	EPC								
モスクワ1-4(露)※	2019年11月	2023年6月	コンソーシアム	EP+SV								
ロッキンガム(豪)	2020年 1月	2022年12月	コンソーシアム	EP+SV+O&M(長期)								
ニューハースト(英国)	2020年 2月	非公開	単独	EPC								
エンメンシュピッツ(スイス)	2020年 2月	2025年12月	単独	EP+SV								
スラウ(英国)	2020年12月	2024年	単独	EPC								
ドバイ(UAE)	2021年6月	2024年7月	コンソーシアム	EP+SV+O&M(長期)								
スケルトン・グレンジ (英国)	2021年7月	2025年7月	単独	EPC								

※モスクワ1の受注は2019年度、モスクワ2-4は2020年度



【イスタンブール現地状況】



【ルーカリー現地状況】

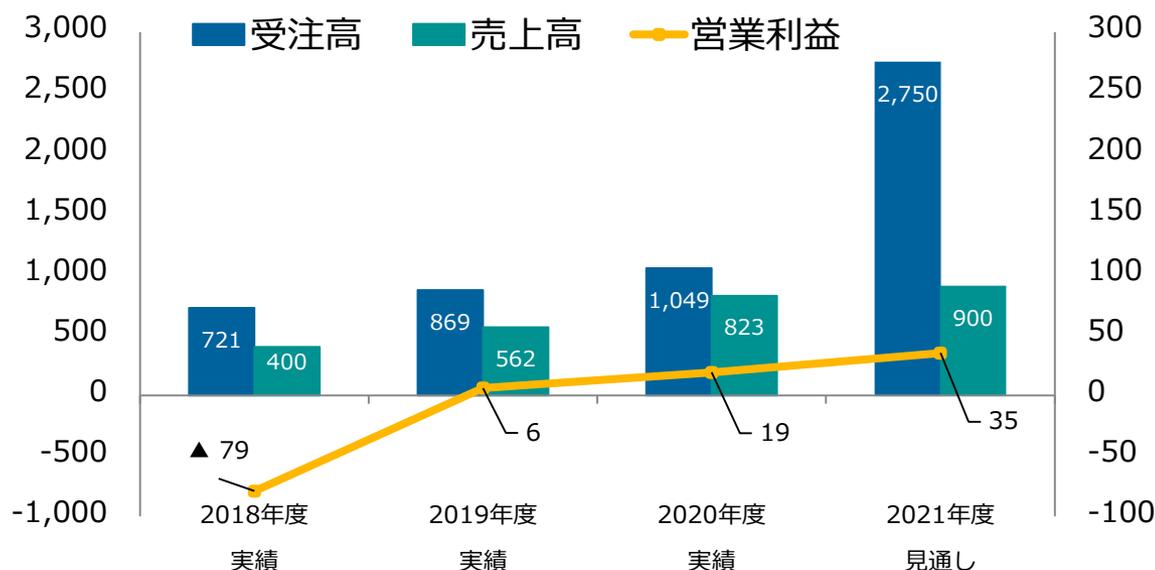
2021年度上半期の主な実績

ごみ焼却発電2件受注 4-9月受注高2,352億円	ドバイ (UAE) ▶ 長期O&Mも受注 英国 (スケルトン・グレンジ) ▶ 英国・アイルランドで15件目の受注
イスタンブール プロジェクト	10月完工 (承認確認中) ・商業運転 (当社O&M) 開始
バイオガス事業 買収	Kompogas (乾式メタン発酵) の通算100件目の受注 ドイツでバイオガス関連企業 (湿式メタン発酵技術) を買収

Inovaの業績推移

受注高/売上高 (億円)

営業利益 (億円)

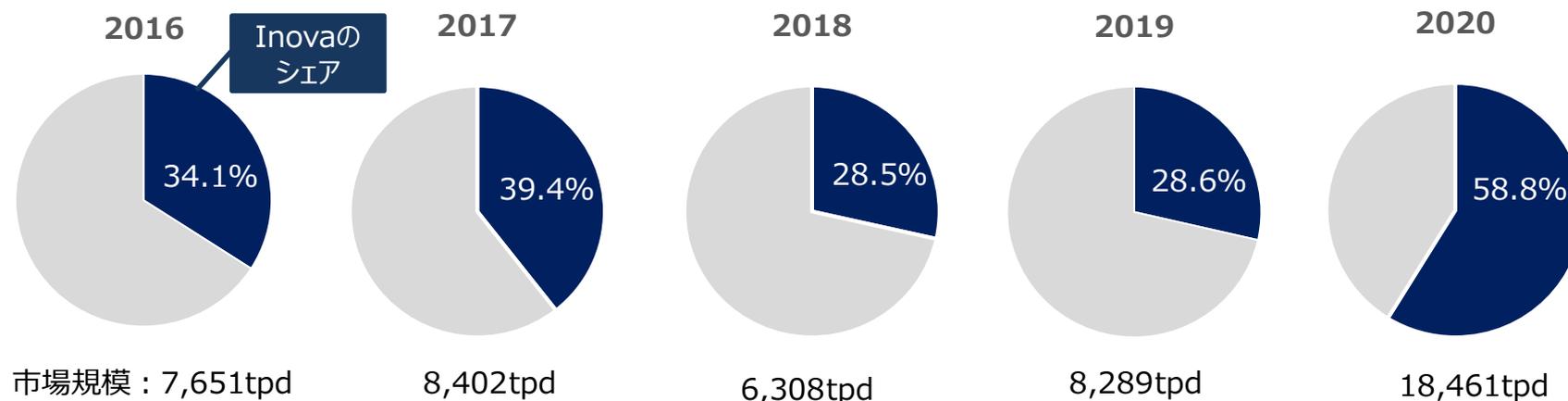


中長期的取り組み

日立造船とのシナジー	主要機器の仕様共通化、調達における協力、ドバイ（UAE）での協働
EU域外の新市場の拡大	トルコ（2017）、ロシア（2019）、オーストラリア（2020）、UAE（2021）
3件目の長期O&M受注	トルコ（2017）、オーストラリア（2020）、UAE（2021）
欧州のメンテナンスサービス拠点網整備	フランス、ドイツ、英国でM&Aなどを通じて拠点網を拡充 欧州のごみ焼却発電施設の70%をカバー
将来の事業構成目標	ごみ焼却発電50%、バイオガス25%、O&Mサービス25%

Inovaの市場シェア推移（欧州・中東・アフリカ）

受注（処理トン数ベース）



環境事業（日立造船およびInovaを除くグループ会社）

■ ごみ焼却発電（EPC）

- ・ 国内：今年度の市場発注量は前年度の約3割減、来年度は前年度並み（今年度受注は下期中心）
- ・ 海外：上半期は台湾、インド案件を受注

■ ごみ焼却発電（継続的事業）

- ・ 大口基幹改良工事は需要が一巡
- ・ ICT活用による利益率向上をめざす
- ・ 中国で現地パートナーとO&M事業推進

■ 電力販売事業

- ・ 電力卸売で新たな販売先と契約

■ 水事業（EPC・継続的事業）

- ・ 汚泥再生処理施設を受注（古賀市）
- ・ 基幹改良は前期から減少
- ・ 包括管理提案強化、処理システムの高度化やAIやICTを用いた運転管理高度化による差別化を図る

外部環境の変化によるリスク及び対応

■ 新型コロナウイルスの影響

- ・ 国内外とも工期に大きな影響はなし
- ・ 海外案件では現地への移動に制限があるが、リモート・スーパーバイザーなどで対応

■ 鋼材価格の上昇

- ・ 契約により、一定水準を超える材料コスト上昇は価格に転嫁できるエスカレ条項が一般的

■ 物流の逼迫

- ・ 調達品の納期遅延は国内外ともほぼ収束（国際物流は依然貨物スペースに制限あり）

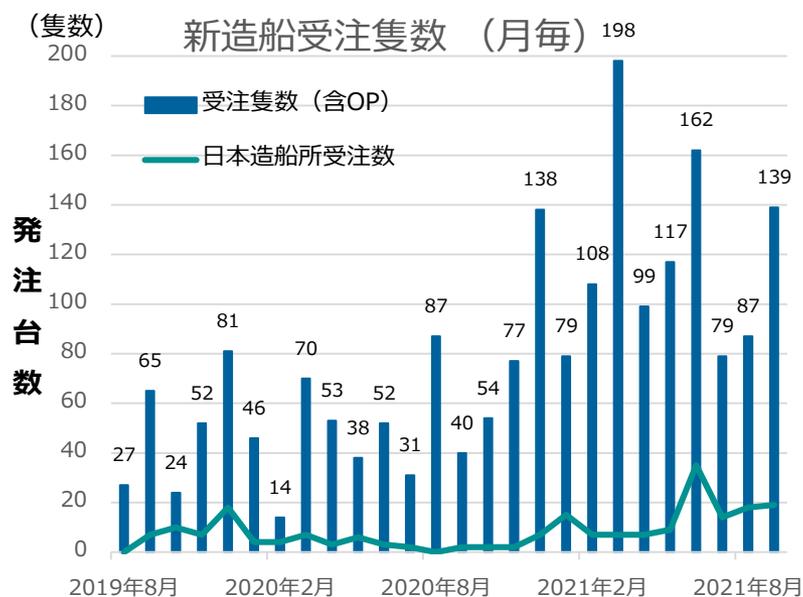
機械・インフラ事業

■ 舶用原動機

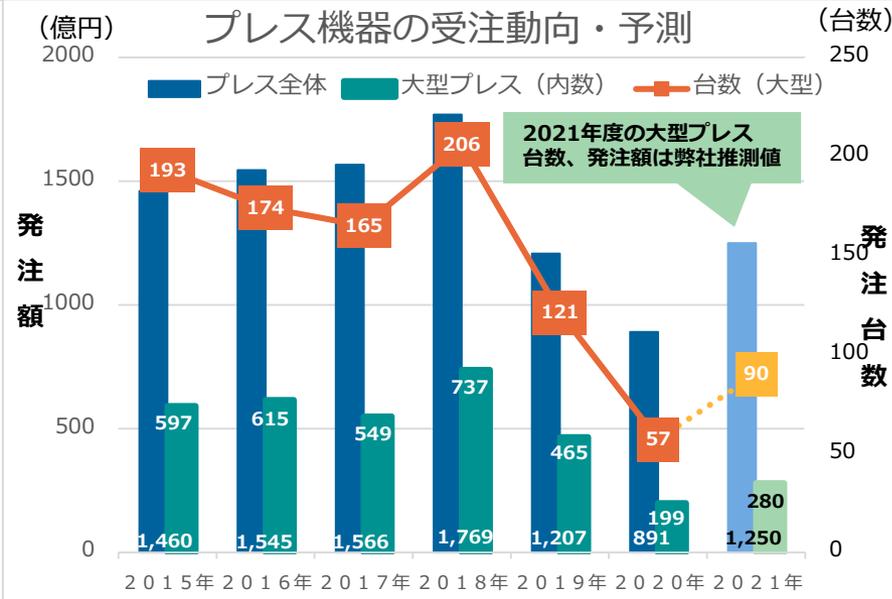
- 造船業界の受注は高水準ながら、エンジン価格は厳しい水準が続く
- アフターサービス強化
(メニュー拡充、人員増強)
- NOx規制に対応するSCRシステム
累計100基超の受注、強みを活かす提案 (エンジン+SCR) を推進

■ プレス

- 商談数は徐々に増加傾向ながら受注の本格回復には時間を要する
- コストダウンや経費削減により営業損益改善をめざす
- 需要が高い地域へ営業リソースを投入
- 既存設備の有効活用の需要が増加
継続的事業に注力



海事プレスを参考に当社作成



出所：日本鍛圧機工業会 鍛圧機械月次業況調査 (2021年9月)

機械・インフラ事業

■ プロセス

- ・ 石油精製・石油化学関連の投資減少
アンモニアなど石油化学分野では動き
- ・ 当社の優位性を活かせる機種に注力
- ・ 汎用機器を中心にインドの合併企業活用
- ・ 国内のアフターサービスを強化

■ 精密機械

- ・ 半導体向け装置の受注は好調に推移
- ・ 中国の半導体国産化加速
現地生産・メンテナンス拠点を設置

■ 鉄構・防災

- ・ 橋梁市場規模は例年並み
- ・ 橋梁および水門・鉄管などの公共案件の受注は下期中心（例年通り）

■ シールドマシン

- ・ 国内外での競争力強化をめざし
川崎重工業と営業・技術部門を統合
合併会社「地中空間開発」設立
(50:50の持分法適用会社)

外部環境の変化によるリスク及び対応

■ 鋼材価格の上昇：

- ・ 機械事業は、設計・製造におけるコストダウンと経費削減に取り組むと同時に適正価格での受注に努める
- ・ インフラ事業では、一定水準を超える材料コスト上昇は価格に転嫁できるエスカレ条項が一般的

事業トピックス

再エネ等由来の電力を活用した水電解による水素製造プロジェクト（山梨県） NEDO助成事業（グリーンイノベーション基金事業）に採択

PEM型水電解の大型化・モジュール化に向けた設備設計や各種試験を行う

■コンソーシアム構成メンバー

山梨県、日立造船、東京電力ホールディングス、東京電力エナジーパートナー、東レ、シーメンス・エナジー、加地テック、三浦工業、ニチコン

- 幹事 山梨県
- 実施場所 山梨県の複数箇所
- 事業期間 2021年度～2025年度
- 設備規模 16MW（事業全体）

NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

（再生可能エネルギー・
太陽光発電や風力発電）



水素の輸送工程削減

電力系統



（出所：山梨県）

ラオス人民民主共和国におけるグリーンアンモニア製造・供給事業を実現するための高圧 PEM型電解装置の実証研究/実証要件適合性等調査 NEDO委託事業に採択

本調査では、ラオスで生じる未利用の再生可能エネルギーからグリーン水素を製造し、これを ASEAN 圏のエネルギー開発方針及び日本の脱炭素政策に適うグリーンアンモニアへと転換する技術開発と事業化を目的に取り組む

■ 調査名
2021年度エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業 実証要件適合性等調査

- 代表幹事 日立造船
- 提案企業 日立造船、レノバ

再生可能エネルギー



余剰電力



水素発生装置

HydroSpring H₂



タイ・ラヨン県のごみ焼却発電設備工事を完工

新型コロナウイルスの感染拡大により海外出張ができない中、スマートグラスを用いた「リモート・スーパーバイザー」を活用し、設備工事を完工（2021年7月）

（本件の概要）注文主： Jurong Engineering Limited（シンガポール）
 最終需要家： Global Power Synergy Public Company Limited（バンコク）
 施設規模： ストーカ式焼却炉：300t/日×1炉、発電出力：9.8MW



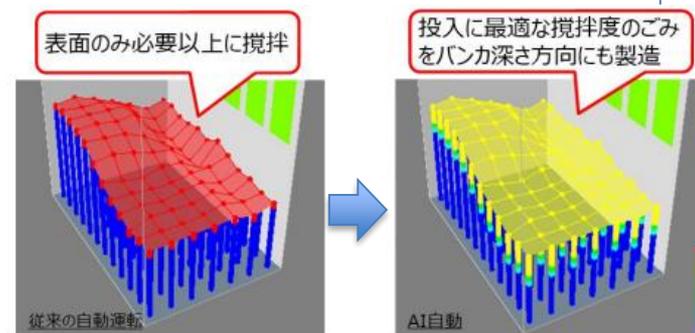
スマートグラスを装着した現場スタッフの様子（タイ王国 RDF Power Plant Project）



清掃工場のビッグデータを活用し、高度な最適運転管理を実現

東京二十三区清掃一部事務組合の協力を得て、杉並清掃工場に取り組んできた「清掃工場における制御技術の高度化研究開発」を完了

- 「ごみバンカ&ごみクレーン 3Dシステムの攪拌度優先投入およびAI自動運転、AI技術を活用した次世代自動燃焼制御システム」を導入し、同時運用
- さらなる安定操炉の実現、運転管理の省力化、消費電力量の低減、用役費の削減に貢献できることを確認



補足資料（小セグメント）

(億円)

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計 (a)	2021年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)
受注高	環境	1234	1,154	1,663	3,198	1,535
	機械・インフラ	561	793	507	568	61
	その他	60	55	42	40	▲ 2
	計	1,855	2,002	2,212	3,806	1,594
売上高	環境	879	1,064	1,063	1,235	172
	機械・インフラ	599	563	564	529	▲ 35
	その他	54	55	41	40	▲ 1
	計	1,532	1,682	1,668	1,804	136
営業利益	環境	▲ 81	▲ 5	▲ 13	▲ 7	6
	機械・インフラ	▲ 6	▲ 62	0	▲ 9	▲ 9
	その他	3	4	0	2	2
	計	▲ 84	▲ 63	▲ 13	▲ 14	▲ 1

受注高・売上高・営業利益（年間 実績・見通し）

（億円）

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		比較	比較
		実績	実績	実績 (a)	期初見通し (b)	今回見通し (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 期初 (c)-(b)
受注高	環境	3,147	2,894	3,037	3,150	4,450	1,413	1,300
	機械・インフラ	1,283	1,540	1,173	1,250	1,250	77	0
	その他	120	107	84	100	100	16	0
	計	4,550	4,541	4,294	4,500	5,800	1,506	1,300
売上高	環境	2,283	2,543	2,694	2,650	2,650	▲ 44	0
	機械・インフラ	1,384	1,367	1,308	1,250	1,250	▲ 58	0
	その他	114	114	83	100	100	17	0
	計	3,781	4,024	4,085	4,000	4,000	▲ 85	0
営業利益	環境	56	158	126	130	130	4	0
	機械・インフラ	10	▲ 28	26	10	10	▲ 16	0
	その他	7	8	1	0	0	▲ 1	0
	計	73	138	153	140	140	▲ 13	0

小セグメント内訳：環境事業（第2四半期 実績）

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計 (a)	2021年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)	(億円)
受注高	EPC(新規建設)	430	548	855	1,381	526	
	継続的事業	804	606	808	1,817	1,009	
	計	1,234	1,154	1,663	3,198	1,535	
売上高	EPC(新規建設)	428	551	574	720	146	
	継続的事業	451	513	489	515	26	
	計	879	1,064	1,063	1,235	172	
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 97	▲ 26	▲ 23	▲ 12	11	
	継続的事業	16	21	10	5	▲ 5	
	計	▲ 81	▲ 5	▲ 13	▲ 7	6	

【内、Inovaグループ（連結）】

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計 (a)	2021年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)	(億円)
受注高	EPC(新規建設)	19	65	322	1,153	831	
	継続的事業	50	61	33	1,199	1,166	
	計	69	126	355	2,352	1,997	
売上高	EPC(新規建設)	147	184	258	475	217	
	継続的事業	34	49	58	50	▲ 8	
	計	181	233	316	525	209	
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 76	▲ 26	▲ 14	13	27	
	継続的事業	0	1	9	4	▲ 5	
	計	▲ 76	▲ 25	▲ 5	17	22	

小セグメント内訳：環境事業（年間実績・見通し）

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		比較	比較	(億円)
		実績	実績	実績 (a)	期初見通し (b)	今回見通し (c)	対前年度 (c)-(a)	対期初 (c)-(b)	
受注高	EPC(新規建設)	1,485	1,329	1,687	1,950	2,100	413	150	
	継続的事業	1,662	1,565	1,350	1,200	2,350	1,000	1,150	
	計	3,147	2,894	3,037	3,150	4,450	1,413	1,300	
売上高	EPC(新規建設)	1,073	1,258	1,366	1,400	1,400	34	0	
	継続的事業	1,210	1,285	1,328	1,250	1,250	▲ 78	0	
	計	2,283	2,543	2,694	2,650	2,650	▲ 44	0	
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 93	17	11	15	15	4	0	
	継続的事業	149	141	115	115	115	0	0	
	計	56	158	126	130	130	4	0	

【内、Inovaグループ（連結）】

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		比較	比較	(億円)
		実績	実績	実績 (a)	期初見通し (b)	今回見通し (c)	対前年度 (c)-(a)	対期初 (c)-(b)	
受注高	EPC(新規建設)	637	625	977	1,240	1,440	463	200	
	継続的事業	84	244	72	160	1,310	1,238	1,150	
	計	721	869	1,049	1,400	2,750	1,701	1,350	
売上高	EPC(新規建設)	339	472	708	770	770	62	0	
	継続的事業	61	90	115	130	130	15	0	
	計	400	562	823	900	900	77	0	
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 92	3	18	30	30	12	0	
	継続的事業	13	3	1	5	5	4	0	
	計	▲ 79	6	19	35	35	16	0	

小セグメント内訳：機械・インフラ事業（第2四半期 実績）

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計 (a)	2021年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)	(億円)
受注高	船用原動機	52	152	105	125	20	
	プレス	134	129	48	77	29	
	プロセス	40	69	37	24	▲ 13	
	精密機械	105	89	113	144	31	
	その他機械	94	117	106	89	▲ 17	
	インフラ	136	237	98	109	11	
	計	561	793	507	568	61	
売上高	船用原動機	80	80	103	109	6	
	プレス	125	113	97	61	▲ 36	
	プロセス	79	57	67	50	▲ 17	
	精密機械	121	98	95	104	9	
	その他機械	67	82	81	92	11	
	インフラ	127	133	121	113	▲ 8	
	計	599	563	564	529	▲ 35	
営業利益	船用原動機	▲ 9	▲ 1	0	0	0	
	プレス	3	2	5	0	▲ 5	
	プロセス	3	▲ 28	▲ 7	▲ 5	2	
	精密機械	2	▲ 4	0	▲ 4	▲ 4	
	その他機械	▲ 4	▲ 1	3	3	0	
	インフラ	▲ 1	▲ 30	▲ 1	▲ 3	▲ 2	
	計	▲ 6	▲ 62	0	▲ 9	▲ 9	

小セグメント内訳：機械・インフラ事業（年間実績・見通し）

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		比較	比較	(億円)
		実績	実績	実績	期初見通し	今回見通し	対 前年度	対 期初	
				(a)	(b)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)	
受注高	船用原動機	218	267	284	195	195	▲ 89	0	
	プレス	236	213	127	150	150	23	0	
	プロセス	125	221	49	180	180	131	0	
	精密機械	249	234	243	255	255	12	0	
	その他機械	179	208	192	150	150	▲ 42	0	
	インフラ	276	397	278	320	320	42	0	
	計	1,283	1,540	1,173	1,250	1,250	77	0	
売上高	船用原動機	203	227	240	245	245	5	0	
	プレス	253	231	166	140	140	▲ 26	0	
	プロセス	189	143	184	140	140	▲ 44	0	
	精密機械	253	235	239	255	255	16	0	
	その他機械	168	196	188	170	170	▲ 18	0	
	インフラ	318	335	291	300	300	9	0	
	計	1,384	1,367	1,308	1,250	1,250	▲ 58	0	
営業利益	船用原動機	▲ 12	▲ 4	0	1	▲ 1	▲ 1	▲ 2	
	プレス	▲ 1	6	3	▲ 5	▲ 3	▲ 6	2	
	プロセス	▲ 5	▲ 29	▲ 5	▲ 3	▲ 3	2	0	
	精密機械	10	7	10	8	8	▲ 2	0	
	その他機械	5	8	10	4	4	▲ 6	0	
	インフラ	13	▲ 16	8	5	5	▲ 3	0	
	計	10	▲ 28	26	10	10	▲ 16	0	



地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

Hitz
Hitachi Zosen

日立造船株式会社 <https://www.hitachizosen.co.jp/>